

新潟県の金融経済動向

【基調判断】

県内景気は、新型肺炎の影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられる。

輸出は緩やかに持ち直している。設備投資は弱めの動きとなっている。個人消費は大幅に減少してきたが、持ち直しの動きがみられる。公共投資は減少している。住宅投資は弱めの動きとなっている。

生産は緩やかに持ち直している。企業収益は減少している。この間、雇用・所得環境は弱めの動きがみられている。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

951-8622 新潟市中央区寄居町 344 番地

TEL : 025-222-3103 FAX : 025-227-1136

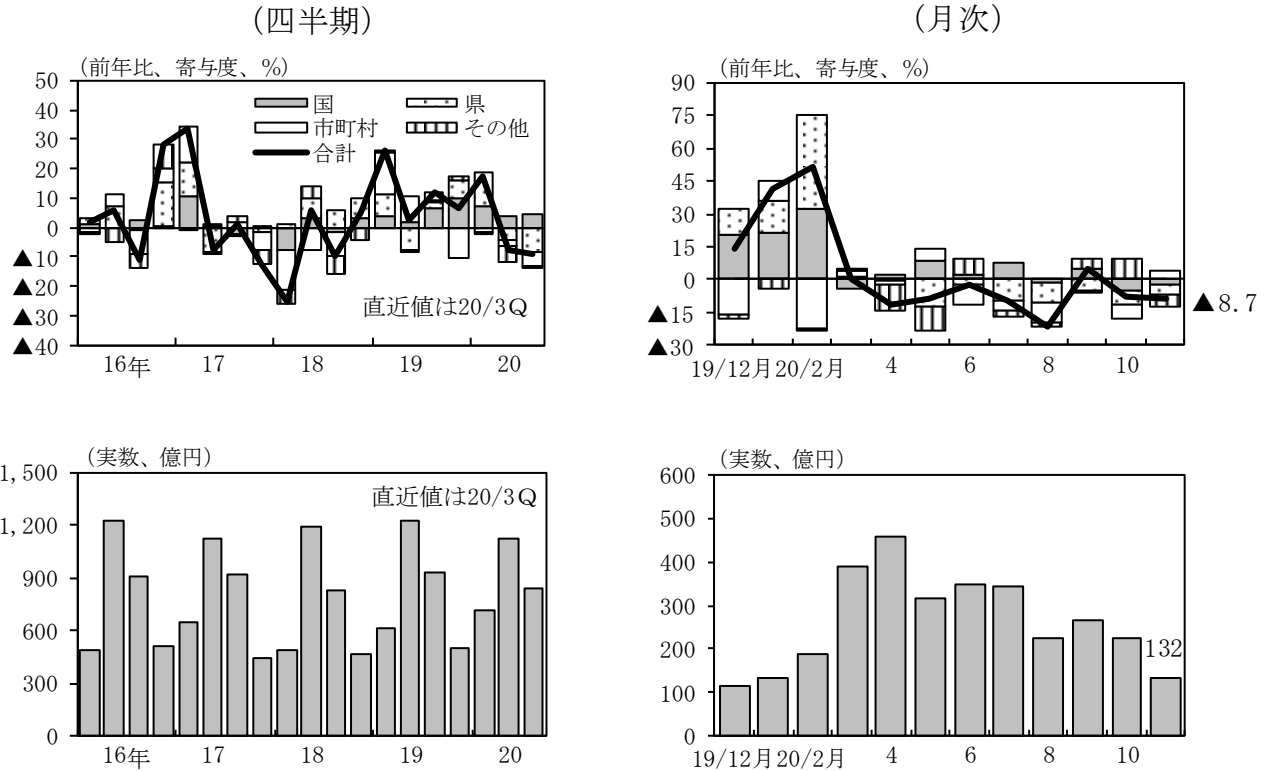
ホームページアドレス : <https://www3.boj.or.jp/niigata/>

1. 実体経済

公共投資は減少している。

2020年11月の県内の公共工事請負金額は、県や国などでの発注減少により、前年を下回った。

[公共工事請負金額] (前年比・実数)



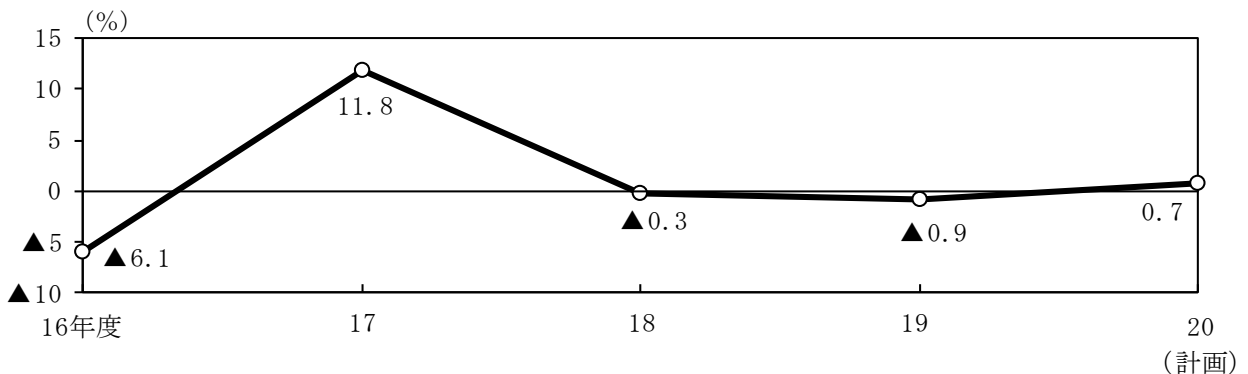
出所：東日本建設業保証(株)新潟支店

輸出は緩やかに持ち直している。

最近の動向を業種別にみると、電気機械は持ち直している。化学は緩やかに持ち直している。輸送用機械は持ち直しの動きがみられる。一般機械は大幅な減少からは脱しつつある。金属製品（作業工具）は減少している。

2020年12月短観（製造業）では、2020年度は前年を上回る計画である。

[短観・輸出（製造業）] (前年比)



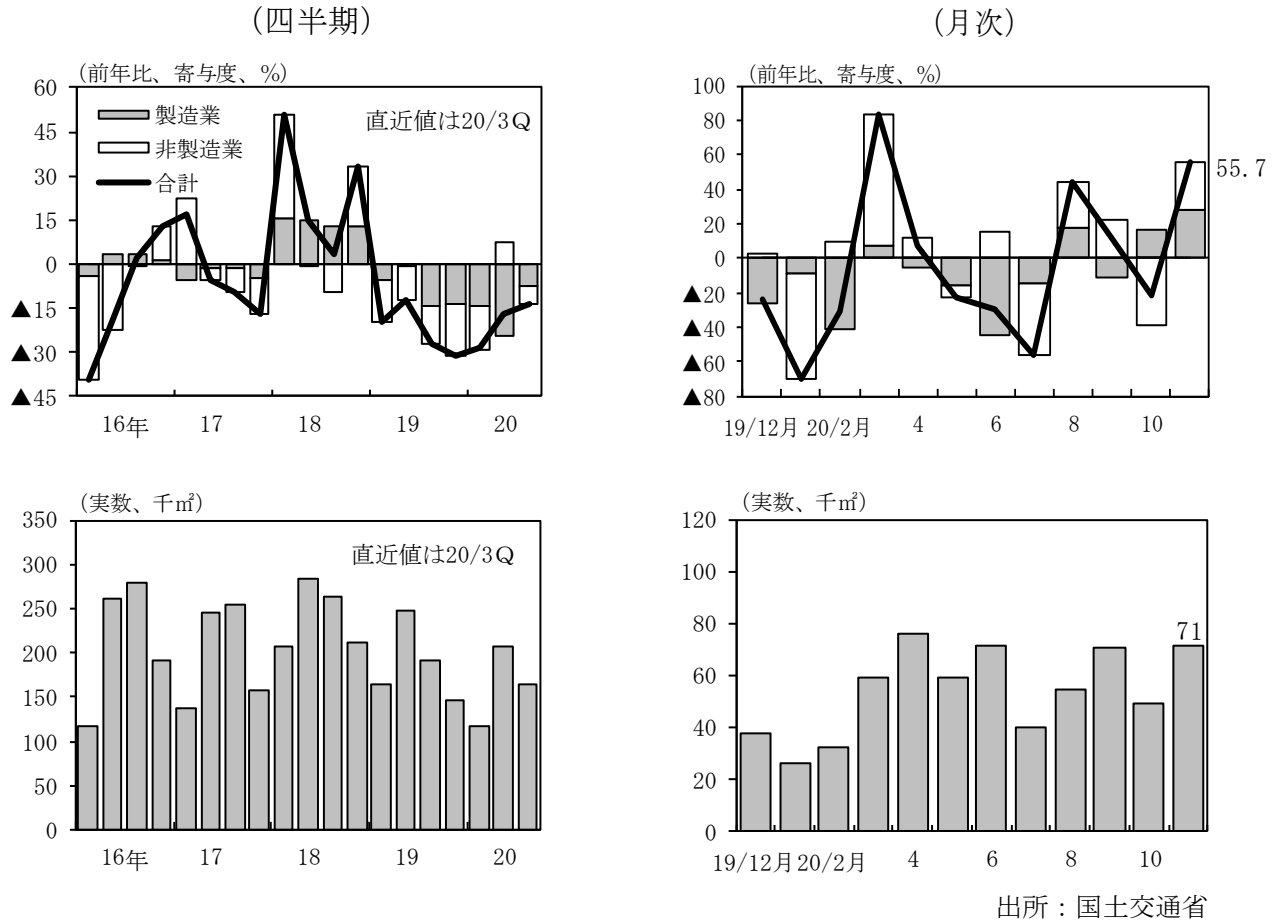
出所：日本銀行新潟支店

設備投資は弱めの動きとなっている。

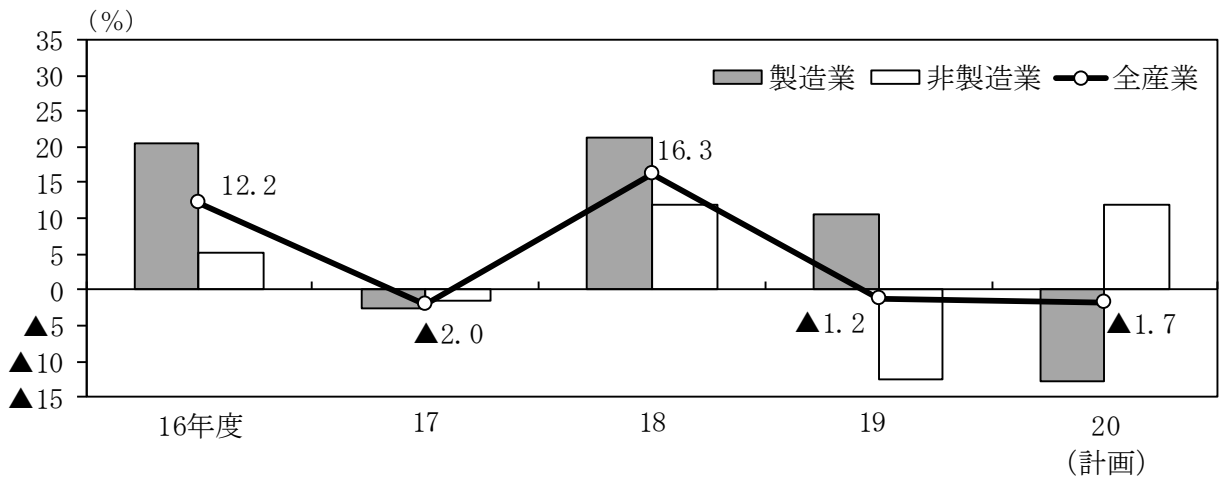
2020年11月の県内の建築着工床面積（非居住用）は、前年を上回った。

2020年12月短観では、2020年度は前年を下回る計画である。

[建築着工床面積（非居住用）]（前年比・実数）



[短観・設備投資]（前年比）



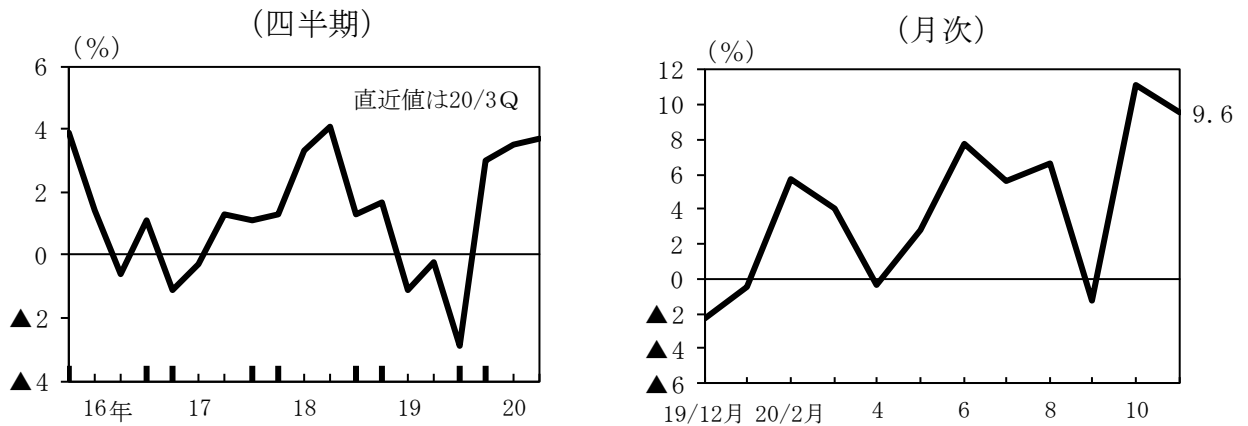
個人消費は大幅に減少してきたが、持ち直しの動きがみられる。

2020年11月の百貨店・スーパー販売額は、前年を上回った。衣料品は弱めの動きとなったものの、食料品は堅調に推移した。

2020年12月の乗用車の新車登録・届出台数は、前年を上回った。家電販売額は持ち直している。

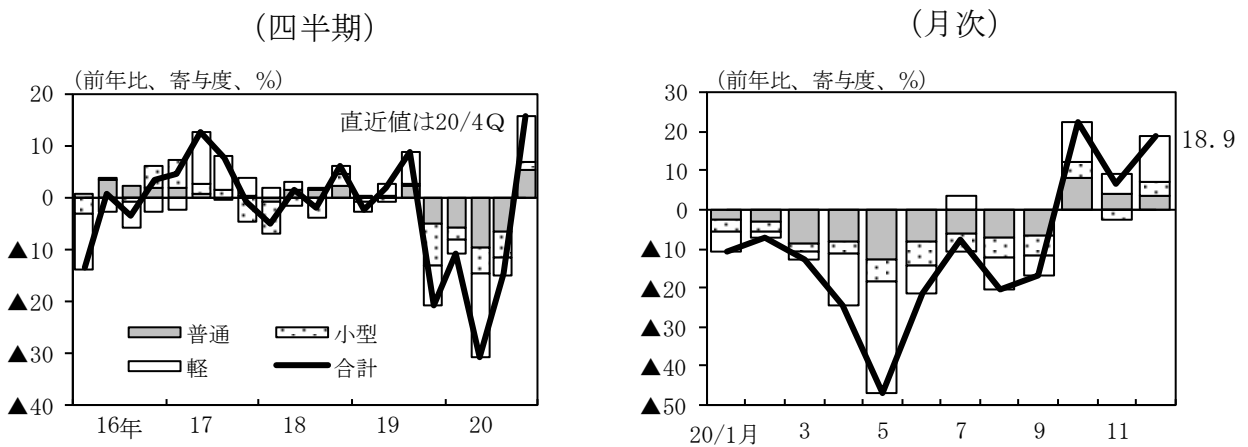
旅行取扱高は、国内旅行の一部に改善の動きもみられるが、全体としては低調となっている。

[百貨店・スーパー販売額] (前年比)



出所：経済産業省

[乗用車新車登録・届出台数] (前年比)

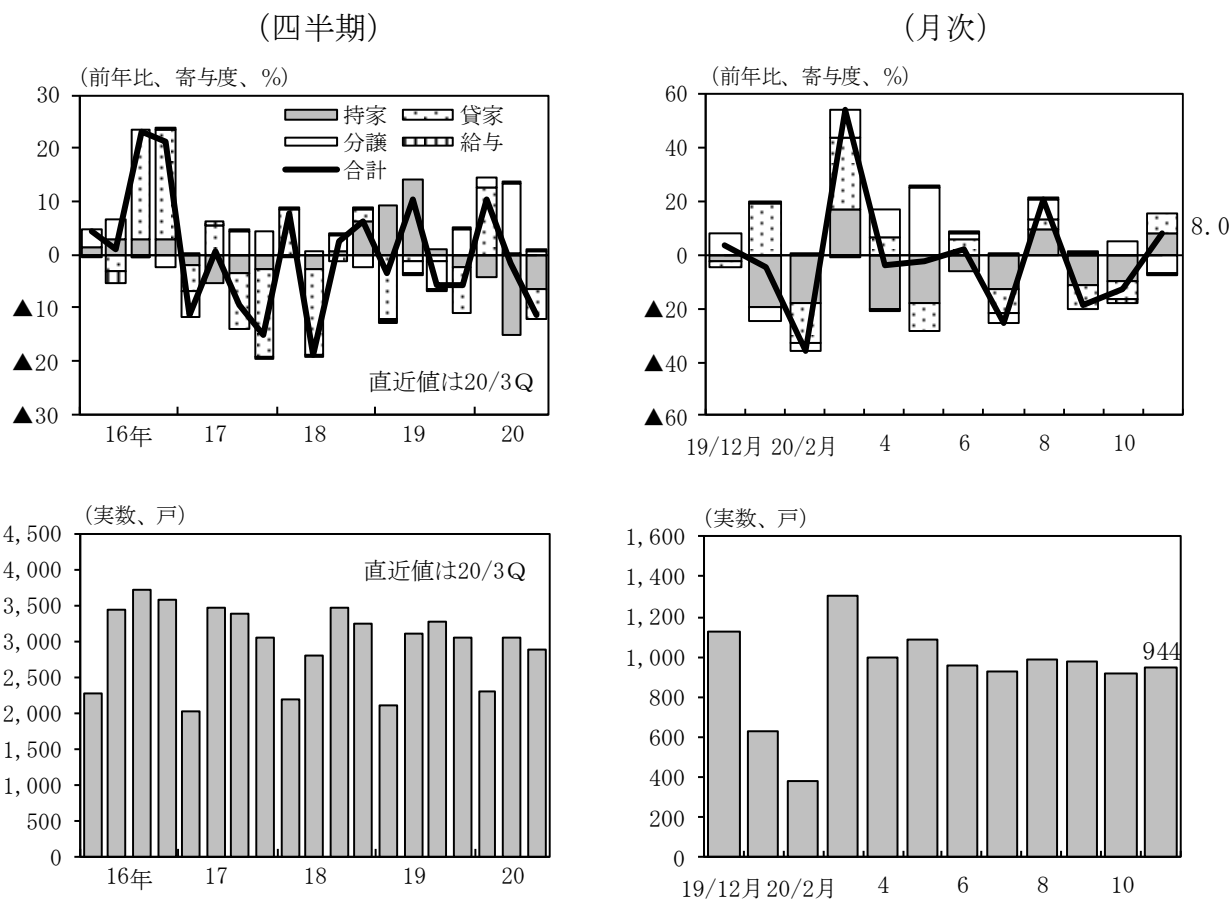


出所：新潟運輸支局

住宅投資は弱めの動きとなっている。

2020年11月の県内の新設住宅着工戸数は、持家や貸家が増加したため、前年を上回った。

[新設住宅着工戸数] (前年比・実数)



出所：国土交通省

生産は緩やかに持ち直している。

食料品（米菓、練り製品）は、堅調に推移している。

電子部品・デバイスは、持ち直している。

一般機械（建設機械、工作機械、産業機械）は、大幅な減少からは脱しつつある。

金属製品（作業工具）は、減少している。

化学は、幾分水準を切り下げた状態で推移している。

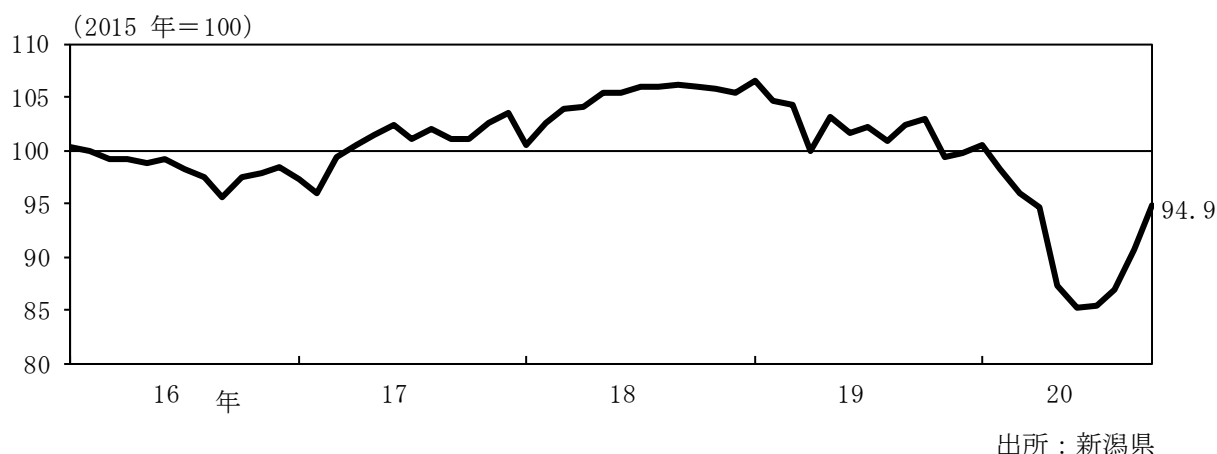
輸送用機械（自動車関連部品）は、持ち直しの動きがみられる。

鉄鋼は、持ち直しの動きがみられる。

繊維は、一段と低調になっている。

なお、2020年10月の県内の鉱工業生産指数は、前月比上昇した（季調済前月比+4.5%）。

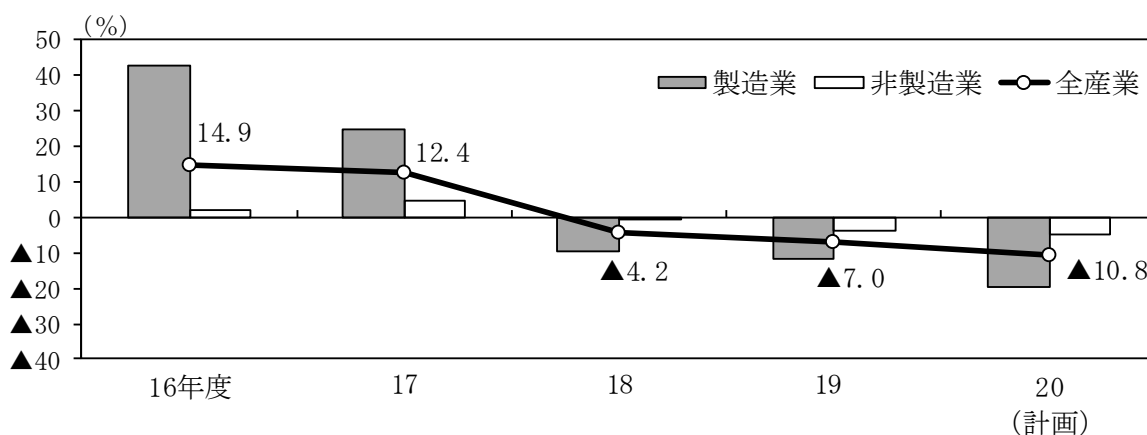
[鉱工業生産指数]（月次・季節調整値）



企業収益は減少している。

2020年12月短観では、2020年度の経常利益は減益の計画である。

[短観・経常利益]（前年比）

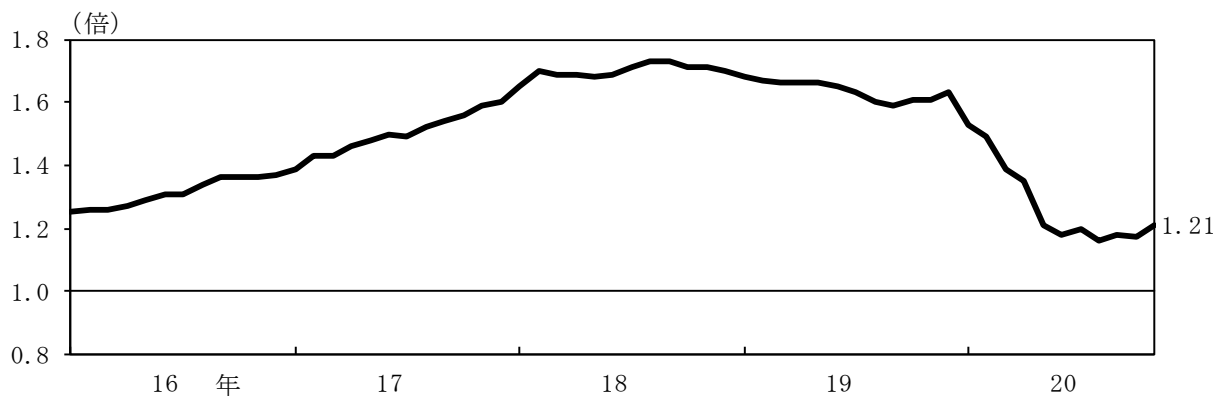


雇用・所得環境は弱めの動きがみられている。

2020年11月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月を上回った。求人数、求職者数ともに前月から増加した。

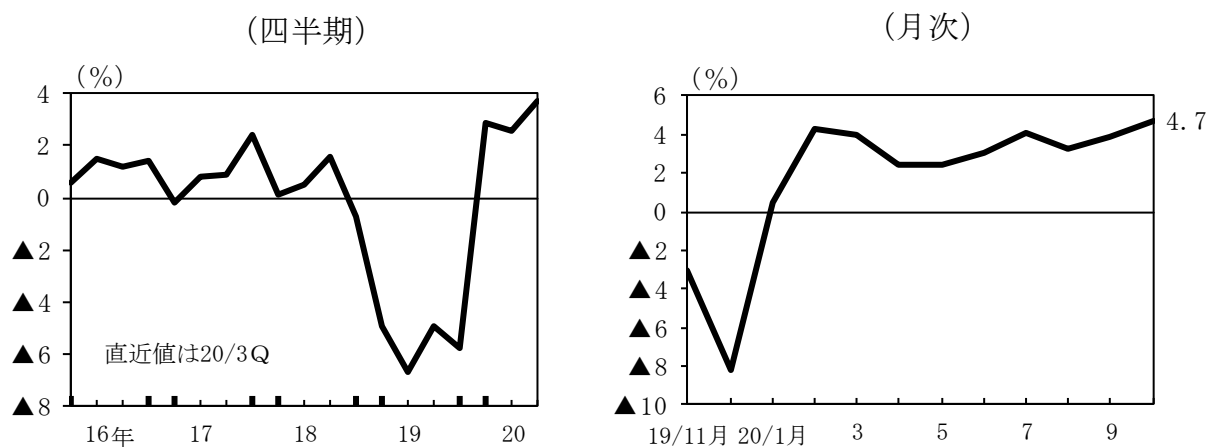
この間、2020年10月の現金給与総額は、前年を上回った。

[有効求人倍率]（月次・季節調整値）



出所：新潟労働局

[現金給与総額]（前年比）

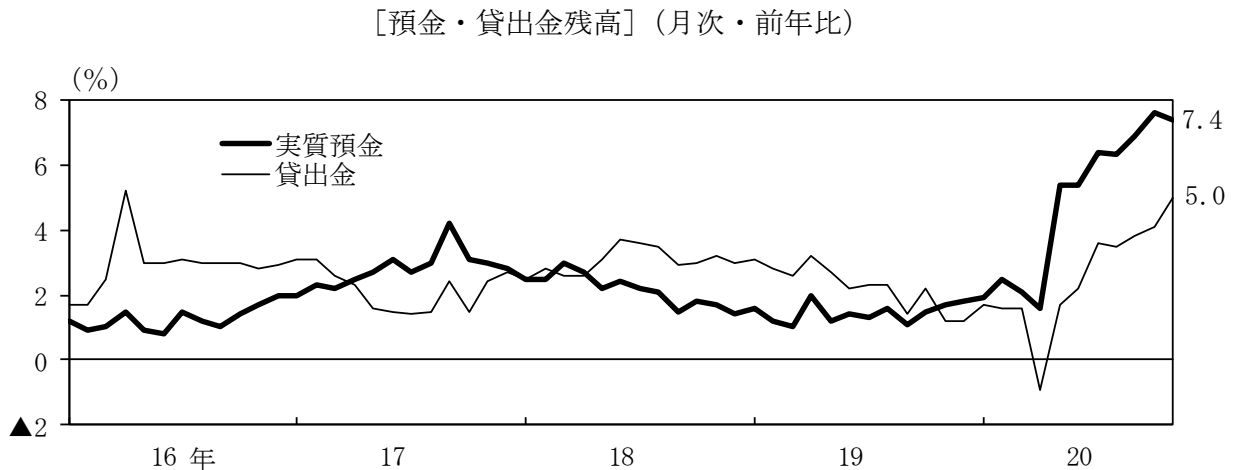


出所：新潟県

2. 金融

預金、貸出金ともに増加している。

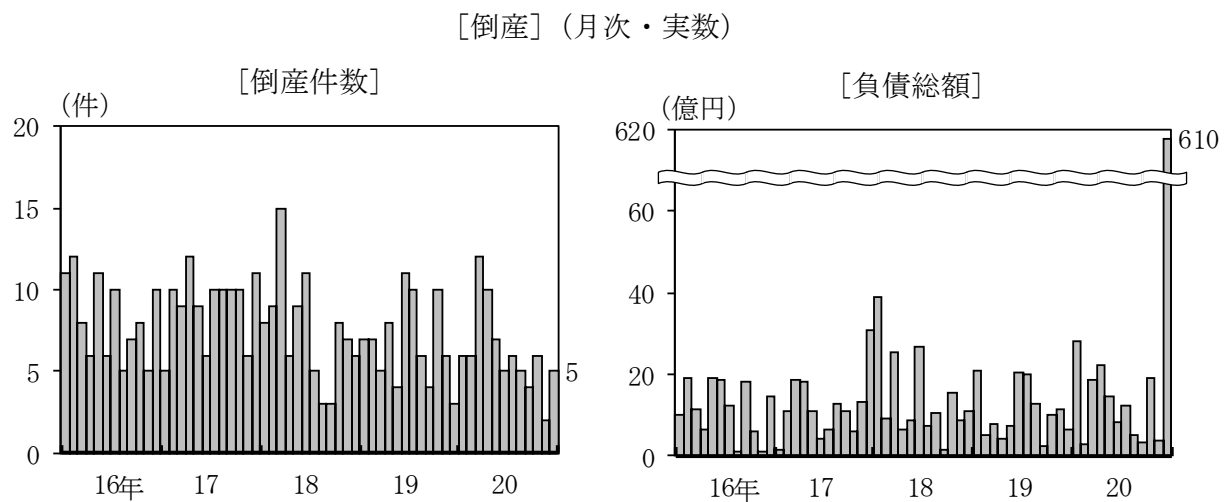
2020年11月の県内金融機関の預金は、個人預金、法人預金、公金預金のいずれも前年を上回った。また、貸出金は、個人向け、法人向け、地公体向けのいずれも前年を上回った。



出所：日本銀行新潟支店

企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

2020年12月の県内企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を上回った。



出所：(株)東京商工リサーチ新潟支店

以 上